

自転車の安全対策は

答 交通安全協会や警察と連携し啓発に努めている



辻 義満 議員

学校教育課長 無灯火やながらスマホの危険性、損害賠償の恐れなど児童・生徒が加害者にならないように全ての小・中学校で、指導している。

高齢者を含め大人にも

交通安全教室を

問 自転車は手軽なイメー

問 小学校では3年生以上を対象に、毎年自転車の安全教室を実施しているが、中学校では。
学校教育課長 交通安全教室も開催するが、むしろ日常的な交通安全指導を重視しており、登下校時の自転車通学におけるマナーとルールの遵守を厳しく指導している。

問 自転車を運転していると被害者だけではなく加害者となり得ることもあるが。



交通安全教室の風景（松原小学校）

市職員は市民とどう向き合うのか

問 行財政健全化により、市民に我慢を強いり、地域活動等でも負担をお願いしている。職員に対し不満の声もある。市長の認識は。

市長 市民の声は届いているが、現状では我慢と負担をお願いせざるを得ない。同時に職員給与等も聖域なく見直すし、重点課題には財源を投入する。職員には全力で職務に取り組んだ上で、地域活動への積極的、自発的な参加を働きかけていく。

問 財政健全化に向けては、転入増による人口増



石橋 章 議員

災害時の職員招集などの対応は適切か

問 地震、台風などの災



災害時、職員は迅速に対応する

答 職務を全力で遂行した上で、地域活動に取り組む

が必要。職員にも市内居住を促す事はできないか。対応できるのか。

市長公室長 憲法上の問題もあり、職員に居住地要件を課す事はできないが、研修等においては筑後市職員としての心構えを説いている。

問 要は日頃からの意識や危機感だと思う。職員の意識は大丈夫か。
防災安全課長 年二回の訓練等により、職員の意識強化を行っている。